

No.1

【青森県青森市】極撰ねぶた漬（仮称）



■ ヤマモト食品 株式会社

従業員数：70名

<http://www.yamamoto-foods.co.jp/>



昭和10年、初代が昆布巻きや塩辛の製造販売で創業。先々代が地元で古くから親しまれてきた海産物や農産物を醤油で漬け込む郷土料理を「味よし」として商品化したところヒットし、その後ねぶた祭で一躍、青森が有名になったことをきっかけに、一口サイズの数の子を入れた「ねぶた漬」と命名し、販売を開始した。平成29年には「特撰ねぶた漬」が日本ギフト大賞青森賞を受賞。地元を代表する水産加工業者として、青森の美味しいものを作り続けたいという思いは代々引き継がれてきており、これからも新たな青森のおいしさに挑戦し続ける。



▲代表取締役社長 山本 浩平さん



▲工場の様子



▲原料となる数の子



▲箱詰め作業



▲本社・工場の近くには陸奥湾が広がる

生産地：青森県青森市

本州最北の県、青森県の中央部に位置する青森市は、青森平野を中心とし、陸奥湾や梵珠山地、津軽平野に囲まれた自然豊かな都市。一方、浅虫温泉をはじめとする温泉や「青森ねぶた祭」など、多彩な観光資源も持つ。夏が短く冬が長い冷涼型の気候で、りんごはもちろん、稲作が盛んなほか、トマトやピーマンなど、野菜の生産地でもある。水産業では「青森といえばホタテ」と言われるほどの水揚げ量を誇り、海を共有する水産の町として、食文化の面で北海道と共通する点が少なくない。



▲青森観光物産館アスラム



▲「青森ねぶた祭」の山車灯籠（2018年青森山田学園）

■ 商品：極撰ねぶた漬（仮称）

品名	しょうゆ漬
原材料	数の子、きゅうり、するめ、昆布、大根（すべて国産）、漬け原材料（しょうゆ、砂糖など）
内容量	100g
賞味期限	180日
保存方法	冷凍
希望小売価格	1,000円



青森県を代表する祭り、「青森ねぶた」にちなんだ「ねぶた漬」は、数の子、するめ、大根、きゅうり、粘りのある昆布を漬け込んだ、青森の人気商品である。特に「ねぶた漬け」は数の子を一口サイズにしたものを入れてあり、数の子独特の食感を楽しむのが特徴。少し甘じょっぱい風味が、ごはんのお供にぴったりで地元のふるさとの味として親しまれている。尚、対象商品については、原料、製法を一から見直し、国産の数の子のみを使用した、プレミアムなねぶた漬として「極撰ねぶた漬」を開発した。人気商品「特撰ねぶた漬け」よりも、さらにワンランク上の最高級商品である。

デザイン要件

現在のパッケージについて (参考)

※新商品のため、パッケージはございません。

- 既存商品はPP袋に入れたものを外箱に入れて販売している。
- 外箱のデザインは「商品名+ねぶた+皿盛り」がヤマモト食品の基本的なデザイン構成だが、どの製品もほぼ同様であり、マンネリ化していることを実感している。
- 長年売り続けてきた経緯を考えると、現在のパッケージにも知名度があるが、今回はプレミアム版ねぶた漬というテーマなので基本的な枠を超えてデザイン面でのプレミアム化も目指したい。

新パッケージについて

商品名の変更	商品ロゴの変更	包装容器の変更	社名ロゴの記載
「ねぶた漬」の記載は必須	○	○ (瓶/100g前後)	どちらでも可

デザイン 変更の範囲

- 容量は100g前後
- 商品名について「ねぶた漬」の記載は必須だが、「極撰」にこだわらなくて構わない。
- ねぶた漬の最高級ラインとして、内容にバリエーションを加えて横展開していくことを考えているため、瓶のパッケージと、瓶が2、3個入るようなギフトボックスのデザインを考えていただきたい。
- 冷凍商品ではあるが、店頭販売をせず、百貨店などで受注を受け、直接納品（贈答対応）を行う予定であるので、容器に水滴がつくこと等はあまり考慮しなくても良い。実用化段階において防水対策を検討したい。

新デザインの 優先事項

- 元々は郷土料理なので、幅広い世代に受け入れられるパッケージを念頭に置いていたが、本商品では贈り物として喜ばれる、大人のための高級感あふれるパッケージを考えてほしい。
- 贈り物という心に響く場面を、パッケージという形あるもので表現してほしい。
- 50年以上の歴史があるねぶた漬の中でも、プレミアムな商品であることが伝わるようなデザインを望む。
- 今後、シリーズ展開も予定しているので、瓶のパッケージは横展開が可能なものを希望。

ターゲット 販路・希望

- 現在はスーパーやコンビニなど様々な販路を広げているため、逆に特別感が薄れている側面がある。その中で、プレミアムな商品である極撰ねぶた漬が目指すのは、百貨店等の中元や歳暮等のカタログギフトや通販。
- ねぶた漬購入者の多くは50~70代。目上の人への贈り物として間違いのないデザインを望む。

